

地域イノベーション・エコシステムの拡大や企業誘致へ Tokyo Marunouchi Innovation Platform (TMIP)^{ティーミップ} にパートナーとして参画

豊橋市は、スタートアップや地域事業者による新事業が生まれ育つ環境整備を行い、地域に適したイノベーション・エコシステムの形成に取り組んでいます。この取組みの一環で、昨年度より、東京に職員を駐在させ、首都圏のスタートアップ等との連携を強化するとともに、本市への誘致活動などに取り組んでいます。

このたび、新たに、大企業とスタートアップ、産・官・学・街との連携で事業創出を目指すオープンイノベーションプラットフォーム Tokyo Marunouchi Innovation Platform（以下、TMIP）のパートナーになりましたので、お知らせいたします。東海 3 県（愛知・岐阜・三重）の自治体としては初めて、中核市では宇都宮市に次ぐ参画となります。

ポイント① 首都圏での連携拡大と認知度向上を目指す

昨年度より、首都圏で連携する施設やコミュニティを積極的に拡大し、現在、都内 12 施設等で取組みの PR を実施。これまでに、本市のアグリテックコンテストへの応募や補助金の活用等により、首都圏のスタートアップが市内で実証等に取り組む事例が生まれるなどの成果につながっています。TMIP は東京・丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）で新たな価値の創造に挑戦するプレーヤーとの共創やイノベーションを通じた社会課題の解決に取り組むプラットフォームであり、今後イベントへの参加や交流を通じて、会員企業との関係を構築しながら、取組みの認知拡大を目指します。

ポイント② アグリテックの推進による地域をあげた豊橋市の挑戦を PR

取組みの第 1 弾として、5 月 30 日（金）に開催された会員限定の交流イベント「TMIP ランチコミュニティ」に登壇しました。このイベントは、東京都千代田区のビジネス支援施設「Global Business Hub Tokyo」で実施され、本市（東京駐在）職員が、「日本一アグリテックフレンドリーなまち」を目指す本市の取組みについて紹介しました。発表を聞いた参加者からは「今回初めて豊橋市の取組みを知り、非常に興味深かったです。先進技術を農業に取り入れようとしている事例は全国的にも珍しいと思いました。自社としても何か連携できる可能性があるのではないかと感じており、今後の展開に注目していきたい。」といった感想が寄せられました。



裏面もご覧ください。

■ 地域イノベーション推進室担当者のコメント

大企業会員を中心とした TMIP コミュニティは東京・丸の内ならではのため、アグリテックの推進という豊橋市の特徴を活かした施策を効果的に発信できるものと捉えています。首都圏のスタートアップへの情報発信に加え、今後は首都圏の企業への情報発信も強化していく中で、豊橋技術科学大学との連携やスマートインターチェンジ周辺のまちづくりといった取組みについてもPRしていきたいと考えています。

【参考】

○「Tokyo Marunouchi Innovation Platform (TMIP)」について

- 一般社団法人 TMIP が運営する組織で、東京・丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）のイノベーション・エコシステム形成に向けて、大企業とスタートアップ、産・官・学・街との連携で事業創出を目指すオープンイノベーションプラットフォームです。会員、パートナーを含めると 330 団体を超える組織になります。
- TMIP コミュニティは、大企業・スタートアップを中心とした『会員』のほか、まちづくり団体・VC/投資家・アカデミア・行政機関などの『パートナー』、事業創出サポートを行う『メンター』や最先端の知見を有している専門家で構成している『アドバイザリーボード』から成り立っており、丸の内エリアが有するアセットと掛け合わせることで総合的に事業創出を支援しています。
- Tokyo Marunouchi Innovation Platform 公式サイト：<https://www.tmip.jp/ja/>

○本市の地域イノベーション・エコシステム形成の取組みについて

- 本市では、地域企業やスタートアップから新規事業が持続的に生み出される環境をつくるため、様々な取組みを進めています。
- 具体的には、本市の強みである、農業者、豊橋技術科学大学、地域企業が有する独自のノウハウや技術に注目し、それをスタートアップと掛け合わせることで、新たな価値を生み出すことを目指しています。
- 東京に駐在する職員が、首都圏のスタートアップの誘致を積極的に進めるとともに、地域のスタートアップとベンチャーキャピタルや投資家、企業などとの橋渡し役となり、スタートアップしやすい環境づくりをさらに加速させていきます。

<首都圏におけるエコシステム拡大のために行ってきた主な取組み>

R6.4.8	国内最大級のスタートアップ集積拠点「CIC Tokyo」に入居
R6.4.23	オープンイノベーションオフィス「SENQ（センク）」のパブリックパートナーに就任
R6.7.19	東三河地域の企業関係者・行政職員が東京のイノベーション施設を訪問し首都圏の多様な人材との接点づくりを行うツアーの実施
R6.8.30	「CIC Tokyo」で自治体リバーСПitchを開催
R6.9.19	Venture Café Tokyo 主催の「Thursday Gathering」に登壇
R7.2.14	スタートアップピッチ&自治体リバーСПitch「supported by Google for Startups」を開催

問合せ先 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 51-3155）